

## 園 評 価 （ H 3 0 年 度 ）

### ～ 基本項目 ～

1⇒もうすこし 2⇒ふつう 3⇒できた 4⇒よくできた 5⇒非常によくできた

	評価項目と評価のポイント	評価
1	保育の基本（保育指針）を理解している。	3
2	園の理念や保育目標を理解している。	3
3	園の全体的な計画(保育過程)を理解している。	3
4	園の理念や方針に基づき、指導計画を立てている。	3
5	定期的に自己評価をして、保育の改善に努めている。	3
6	保育の計画や実践に向けて、創意工夫に努めている。	3
7	自分の保育の良さと課題を認識している。 ・自分の保育の良さ・・・ _____ _____ _____ ・自分の保育の課題・・・ _____ _____ _____	
8	すぐにでも取り組まないといけない課題の改善に努力した。	3
9	保育雑誌や専門書を読んだりして、保育の情報を集めている。 ・今、読んでいる保育雑誌、専門書（ ）	3
10	園の会議などで子どもの利益を一番に考えて発言している。	3
11	業務上知りえた個人情報などの秘密を守っている。	4

### ～ 子どもとの関わり ～ <生命の保持・心の安定>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	一人ひとりの発達を理解して接している。	4
2	一人ひとりの生理的欲求が満たされるように接している。	3
3	登園時に優しく声をかける等、状況に応じて対応をしている。	4
4	分かりやすい言葉で穏やかに話しかけている。	3
5	子どもが何を求めているのか、常に配慮して接している。	3
6	子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。	3
7	制止や、せかす言葉を不必要に使わず、一人ひとりに合わせた対応をしている。	3
8	「あとで」などと待たせず、なるべくその場で対応している。	3
9	保育士間に協調性、協力による快い人間関係は、子どもに安定感をもたらし、人格形成に良い影響を与えるため、お互いの職種の専門性を尊重し、よく話し合い、理解し協力し合うよう心がけている。	4

## <健康・安全>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組むように配慮している。	4
2	食事やおやつを楽しめる雰囲気作りをしている。	3
3	子どもが育てたものを食事やおやつに出し、一緒に食べる等、食育に心がけている。	3
4	偏食や食べ残しを治すために過度にしないように配慮している。	3
5	トイレの後や食前の手洗いなど、清潔にする習慣が身につくよう働きかけている。	4
6	体を動かすことを楽しむように働きかけている。	4
7	危険を意識して行動するよう、安全について指導をしている。	4

## <人との関わり>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	友達との関わりで、友達の良さや大切さに気付くようにしている。	4
2	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮している。	3
3	順番などのルールが身につくように配慮している。	4
4	活動を通して、教養の道具や遊具を大事にする事を体験できるようにしている。	3
5	人と心が通じ合う喜びを伝えるように接している。	3
6	異年齢の子どもと関わる事を大切にしている。	3
7	外国に人や文化の違う人に親しみをもつ機会をつくっている。	1
8	地域の人や高齢者と親しむ機会をつくっている。	2
9	家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	4

## <表現活動>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会をつくっている。	3
2	感じた事や考えたことを自由に表現する機会をつくっている。	3
3	子どもが自由に歌ったり、踊ったりする事を楽しめるようにしている。	4
4	さまざまな素材や用具と接し、自分で工夫して遊べるようにしている。	3
5	子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾るなどしている。	4

## <言葉>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	心のこもった挨拶をしている。	4
2	正しく、丁寧な言葉で話しかけている。	3
3	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を相手の気持ちを大切に指導している。	4
4	わからないことを子どもが聞けるなど、安心して話ができる雰囲気をつくっている。	3
5	子どもが人前で話をする時に、相手にわかりやすく話せるよう、援助している。	4
6	読み聞かせの時に言葉の楽しさが伝わるように配慮している。	4

～ 保育環境 ～ <環境づくり～心地よい生活の場>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	一人ひとりが安心して過ごせる環境づくりを心がけている。	3
2	自然とのふれあいを大切にして心が豊かになるよう配慮している。	4
3	四季に応じて、保育環境を整えている。	3
4	保育室の温度や湿度、通風に配慮している。	4
5	適切な声の大きさに接している。	3
6	子どもが不安になったり、話しかけてきたりした時に応じられるようにしている。	4
7	トイレや手洗い場を清潔に保っている。	4
8	遊具、おもちゃ、砂場などの点検や消毒を定期的に行っている。	3
9	必要な場所に転倒防止対策をしている。	3
10	不審者などの侵入を防ぐ対策をしている。	3

<環境づくり～成長を促す>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	発達にあったおもちゃや、遊具を用意している。	4
2	子どもの動線を考えて、遊具や用具などを配慮している。	3
3	子どもが身近な動植物に触れ合う機会をつくっている。	3
4	一人ひとりの興味に合わせて、好きな遊びが出来るようにしている。	3
5	園外保育で、公共機関などを利用し、地域に興味をもてるようにしている。	2
6	伝統的な行事を生活の中に取り入れている。	3
7	日常的な生活や環境の中で標識や文字に関心を持つ工夫をしている。	3

～ 保護者との関わり ～ <情報の発信と受信>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	保育の方針や内容を保護者にわかりやすく説明している。	3
2	個々の家庭の養育方針を理解している。	3
3	送迎時や連絡帳などで日常的な情報のやり取りを大切にしている。	4
4	必要に応じて保護者との個別面談を行っている。	4
5	懇談会など、保護者との意見交換の機会を設けている。	4
6	緊急時は電話などで、迅速な連絡を行っている。	4

<支援>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	家庭と協力して、子どもが健康的な生活リズムを身につけられるようにしている。	4
2	子どもの育ちの過程を伝え合い、共通理解に努めている。	4
3	悩みや不安を話せるように心を開いて対応している。	4
4	保護者の保育参加など子育てについて共通理解を得るための機会を設けている。	4

**<マナー>**

	評価項目と評価のポイント	評価
1	すべての保護者に対して、親しみを込めたあいさつや会話をするように心がけている。	4
2	丁寧な言葉や敬語を使っている。	4
3	子どもの体調不良などの連絡時の伝達方法に配慮している。	4
4	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	4

**～ ほかの保育者との関わり ～ <良好な関係と協働性>**

	評価項目と評価のポイント	評価
1	園長や主任、同僚を尊重し、良好な関係を築いている。	4
2	園長や主任、同僚の言葉を素直な気持ちで受け入れている。	4
3	報告や連絡、相談をするように心がけている。	4
4	互いの状況や役割を理解し、協力や援助をしている。	4
5	園が目指す目標に向けて互いに協力している。	4

**<向上>**

	評価項目と評価のポイント	評価
1	自己評価を基に、職員間で保育内容の対話を重ねている。	3
2	保育の良さや課題を話し合っ明確にし、見直しや改善につなげている。	3
3	研修などを通して、互いに知識や技術の習得を図っている。	3
4	子育て支援や地域開放のあり方について、職員間で話し合いをしている。	2

**・・・年齢別、担当別項目・・・ <乳児保育を担当している方>**

	評価項目と評価のポイント	評価
1	乳児期にふさわしい安全で衛生的な環境を心がけている。	4
2	授乳は子どもの欲しがるときにゆったりと行っている。	4
3	ひとりひとりの育ちに合わせ、家庭と連携しながら離乳食を進めている。	4
4	ひとりひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれる場所や時間を設けている。	4
5	寝返りのできない子はあおむけに寝かせるなど、乳幼児突然死症候群（SIDS）に配慮した保育をしている。（寝ている子の呼吸の確認を10分おきに胸の動きや鼻の近くに手をあて、行っている。）	4
6	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている。	5
7	たて抱きや腹ばいなど、さまざまな姿勢がとれるように配慮している。	4
8	しぐさや声を介し、欲求を察知してタイミングよく対応している。	4
9	喃語にはやさしくこたえるようにしている。	4
10	やり取りや、ふれあいあそびを大切にしている。	4
11	特定の保育者との継続的なかかわりとともに、職員間で連携をとって保育をしている。	4

・・・年齢別、担当別項目・・・ <年長児(3,4,5歳児)を担当している方>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	小学校(幼稚園)との連携について理解している。	3
2	小学校(幼稚園)との連携や就学に関する事項を指導計画のなかに位置付けている。	3
3	小学校(幼稚園)と交流する機会などを設けている。	3
4	小学校(幼稚園)教諭と意見を交換する機会を設けている。	3
5	保護者が小学校(幼稚園)の生活について見通しを持てる機会を設けている。	3
6	保育要録や指導要録作成の際は、園長の責任のもとに協力している。	4

<障害のある子どもを担当している方>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	障害のある子どもの特性に配慮して個別の計画を作成し、保育を行っている。	5
2	障がいのある子どもとない子どもが互いに認め合い、ともに成長できるように配慮している。	5
3	障がいのある子どもを持つ保護者の気持ちを受け止め、話をする機会などを設け、支援をしている。	5
4	医療機関や地域の専門機関から、必要に応じて助言を受けている。	4
5	障がい児保育の研修などに進んで参加している。	4

<社会人として>

	評価項目と評価のポイント	評価
1	遅刻をしない	4
2	体調が悪い時(発熱、腹痛など)早めに自分から報告し、早期に受診している。	4
3	病気で休んだ場合は、翌日出勤できるか否かの状況について、午後4時までには園長、又は主任保育士、クラスリーダーへ電話をしている。	4
4	一人ひとりが責任をもつ。「誰かがするだろう」と考えない。誰の担当かわからない時はそのままにせず、確認したり「私がします」と申し出ている。	4
5	提出物の期日を守っている。自分の仕事が期日までにできない時は「〇日遅れます」「明日になります」と忘れずに報告する。また仕事の途中経過も「今〇〇まで進んでいます」と報告している。	3
6	園の書類や備品を自宅に持ち出さない。保育のためにやむを得ず書類や備品を持ち帰る時には、園長や主任の了解を得て、翌日には必ず園に持ってきて返すことを報告している。	4
7	個人のロッカーや引き出しは整理している。食べ物は置いていない。	4
8	保育室はいつも片付け、安全で清潔な保育環境をつくる。掲示板、テラス、保育室の机の上や棚、ピアノの上などは常に片づけている。	3
9	保育室を離れる時は「〇〇へ行ってきます」と必ず声をかける。昼休みに私用で園外へ出る時は、園長、主任、クラスリーダーに了解を得ている。	4